

カレッジの特徴



自分の学びを自分で選ぶ
豪華7講座！



新しい学びやワークを通して、
価値観や視野が広がります



主体的な学びの場
みんなで学びをつくっていきます



参加者同士の対話の中から
学びを生み出し、自らに落とし込みます



「これならできる」という具体的な考え方
や技能が得られます



共に学び合う仲間
との出会いも魅力
のひとつだよ！

【お申込み方法】下記内容をメールかファックスにてお送りください

氏名

所属

E-mail（勤務先 or 自宅）

当日連絡先

期待することや参加の動機

【各講座について】

[会 場] 新潟経営大学
〒959-1321
新潟県加茂市希望ヶ丘2909-2
電車：加茂駅より徒歩30分
バス：加茂駅東口から新潟経営大学

[参加費] 7/27講座 1,000円
それ以降各講座 2,000円

[定 員] 各講座 25名

[持ち物] 昼食（7/27講座以外はお持参ください）
筆記用具

- 参加費は講座当日にお支払いください。
- 講座をキャンセルされる場合は下記キャンセル料が発生いたします。
 - ・連絡無しの当日不参加：参加費の100%
 - ・講座の3営業日前～当日：参加費の50%
 - ・それ以前のキャンセル：無料



申込講座（参加予定の講座に☑をつけてください）

- ☐ 7/27 ①「オープンセッション」
- ☐ 8/7 ②「カリキュラム・マネジメント」
- ☐ 8/24 ③「共感的コミュニケーションのプロセス」
- ☐ 9/28 ④「地域資源を活かした学びのリデザイン」
- ☐ 10/27 ⑤「授業づくりの理論と実践」
- ☐ 11/17 ⑥「地域資源を活かした提案の方法」
- ☐ 12/14 ⑦「プロジェクト・ファシリテーション」

当法人が取得した個人情報は、当イベントの連絡、活動報告、イベント告知等のご連絡以外の目的には使用しません。

【お申込み・お問合せ先】

みらいずカレッジ2019事務局 〒959-1321 新潟県加茂市希望ヶ丘2909-2 新潟経営大学 総務・会計係
TEL 0256-53-3000 FAX 0256-53-4544 e-mail soumu@duck.niigataum.ac.jp

みらいず カレッジ2019



みらいずカレッジ2019のテーマ

地域と学校で協働してつくる

探究学習



みらいずカレッジとは、
新潟経営大学とNPO法人
みらいずworksがこれからの
教育改革で必要だと思う知
識・スキルを学べる講座を豊
富に紹介。大学と高校、
NPOが共にこれからの学びを
創るコミュニティです。



と心底思えるように

学びをつくる人こそ
学びつつ楽しい！



各講座の詳細は
中面に記載

① 7月27日（土）13：30～17：00 参加費：1,000円 **Open session**
- オープンセッション -

探究学習に向けた“疑問”を探究する！

「探究学習のカリキュラムをどう作る？」「探究学習をどう評価する？」「どこと連携・協働する？」「教員をどうやって巻き込む？」など、探究学習に対する皆さんの疑問を出し合い、事例発表者と参加者で探究します。

キーワード 探究のオープンセッション、テーマ設定、手の打ちどころ発見
オススメ

ゲスト 新潟東高等学校 進路指導主事 早川昌 教諭 ほか
コーディネーター 新潟経営大学 渡貫正治 特任教授
全体ファシリテーター みらいずworks理事、新潟経営大学 地域活性化研究所客員研究員 角野仁美



② 8月7日（水）10：00～17：00

School
- 学校の視点 -



探究学習を核とした「カリキュラム・マネジメント」

これからの社会に求められる資質・能力は、「総合的な学習の時間」や試行が始まったばかりの「総合的な探究の時間」の実践だけでは育れません。それらを核にして、教科横断型のカリキュラム・マネジメントの考え方や進め方のポイントを学びます。

キーワード カリキュラム・マネジメント、主体的・対話的で深い学び、教科横断型の学び、教員のカリキュラム・マネジメント力
オススメ 探究学習を核としたカリキュラムを検討している管理職や担当者、学校のカリキュラムや文化について理解したい行政職員や地域関係者

松井 千鶴子 氏
上越教育大学 教授

新潟県小学校教諭、上越教育大学学校教育総合研究センター任期付助教授、小学校教頭、新潟県教育委員会義務教育課指導主事を経て、平成22年に本学に着任。小学校に勤務する中で総合的な学習に魅力を感じ、子どもが切実感をもって学び、自分の考えをつかっていくための授業づくりや単元開発に取り組み、その中でカリキュラム編成や教師のカリキュラム・マネジメント力の重要性についても考えるように。現在、総合的な学習のカリキュラム・マネジメントの方法とそれを教師のカリキュラム・マネジメント力の向上にどのように結び付けるかを追究している。



③ 8月24日（土）10：00～17：00

Collaboration
- 協働促進 -



立場や価値観の違う人と協働を進めるための「共感的コミュニケーションのプロセス」

探究学習を推進していくには、学校内外の様々な人たちと、方向性を共有し、関係性を高め、役割分担をしていく必要があります。そのために必要となる他者の気持ちやニーズを知り、互いがWINWINになるためのコミュニケーションのあり方やスキルを学びます。

キーワード 安心安全な場、いじめ防止、地域や保護者との対話、協働
オススメ 協働したいのに文化の違いで難しさを感じている担当者、さらに協働を進めたい地域と学校の連携コーディネーター、教員を目指す学生

小笠原 春野 氏
NVCトレーナー

東京都内の公立中学校で専任2年、特別学級で講師1年を務めたのち、海外を転々とする中で、多様性のすばらしさ、平和の大切さを痛感。以降12年間、都立高等学校教員として不登校経験者など様々な境遇の生徒たちと一緒に過ごす。2006年にNVCと出会い、すぐさま創始者マーシャル・ローゼンバーグ氏のワークショップに参加し、探し求めていた平和への道だと確信。以来、国内外でNVCの訓練を続けつつ、実践に励んでいる。



④ 9月28日（土）10：00～17：00

School
- 学校の視点 -



「すてる・いかす・つなぐ」地域資源を活かした学びのリデザイン

探究学習を組み立てる上で、既存の組織や取組を有効活用する視点が重要です。本講座では「すてる・いかす・つなぐ」をキーワードに、地域と連携して探究学習を継続する方法を模索します。また、探究学習を一過性のイベントで終わらせないために、日々の授業で取り組む教科型の探究学習や、生徒とゴールを共有した評価方法の事例についても、ワークを交えながら体験的に学びます。

キーワード 地域資源、教科型探究、評価、ファシリテーション
オススメ 地域資源を生かした探究学習の質を高めたい担当者、探究学習の評価に悩む教員、地域資源を活かして若者に地域の活性化に参画してほしい地域関係者や行政職員

阿部 雅也 氏
新潟経営 経営情報学部 准教授

新潟県内の公立高校に勤務後、県立教育センター指導主事。主体的・対話的で深い学びを促す授業実践やファシリテーションを取り入れた授業研究の普及に務める。村上ハブスクール（県グローバル人材育成推進事業）で、小中高生が地域の魅力を英語で発信する地域連携や、小中高教員が互見授業で授業改善する取組を推進。県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室勤務を経て、2019年度より現職。



⑤ 10月27日（日）10：00～17：00

School
- 学校の視点 -



資質・能力を育むための「授業づくりの理論と実践」

探究学習を推進するには、日々の教科の授業で資質・能力を育んでいくことが欠かせません。カリキュラム・マネジメントの視点を確認しながら、探究につながる主体的・対話的で深い学びのある授業づくりを学びます。

キーワード 主体的・対話的で深い学び、資質・能力、授業改善、キャリア教育
オススメ 授業改善のアイデアが欲しい教員、カリキュラムマネジメントの視点に基づき授業改善を推進していく担当者、教員を目指す学生

山本 一輝 氏
みらいずworks 学びクリエイター / idea partners 代表

大学で心理学を専攻後(株)リクルートへ入社し、東北にて大学・専門学校の広報や組織活性の支援、高校にて進路講演の講師を担当。新潟にUターン後、みらいずworksに所属しながら、社会起業家として人のつながりとあり方をデザインする企画会社「idea partners」を立ち上げ、代表を務める。これまでの経験を生かし、公私問わず生きにくさを感じる若者へのキャリア支援や、地域の新たな価値創造に邁進している。国家資格キャリアコンサルタント。



⑥ 11月17日（日）10：00～17：00

Local
- 地域の視点 -



マーケティング理論を取り入れた「地域資源を活かした提案の方法」

探究の終盤には、表現・発信活動が必要です。地域側にとっても価値があり、高校生にとって学びの大きい発信ができるように、マーケティングの理論を学びながら、地域資源を活かした商品開発や提案の仕方を具体的なケースを例に学びます。

キーワード マーケティング、地域資源、表現・発信活動、商品開発
オススメ 生徒のアウトプットの質を高めたい担当者、地域資源を活かした提案やアクションをしてほしい地域・行政関係者・連携コーディネーター、子どもの視点を活かしたサービスをはじめたい企業関係者

伊部 泰弘 氏
新潟経営大学 経営情報学部 教授

1970年生まれ。龍谷大学大学院経営学研究科博士後期課程修了。博士（経営学）龍谷大学非常勤講師、敦賀短期大学職員・非常勤講師を経て、2007年10月より新潟経営大学経営情報学部准教授、2013年10月より現職。著書に、稲田賢次・伊部泰弘・名淵浩史・吉村泰志著『経営戦略論を学ぶ』創成社、2015年。伊部泰弘編著『北陸に学ぶマーケティング』五紘舎、2017年。田中道雄・テイラー雅子・和田聡子編著『シティブロモーション：地域創生とまちづくり』同文館出版、2017年（分担執筆）など。



⑦ 12月14日（土）10：00～17：00

Collaboration
- 協働促進 -



組織内外で巻き込み、探究学習を軌道にのせる「プロジェクト・ファシリテーション」

探究学習を進めるには、組織内外の人を巻き込み、支え合える体制を作ることが重要です。探究学習の目的やプロセスを共有しながら、相乗効果が生まれるプロジェクトの作り方・回し方を演習中心に学びます。関わる大人、一人一人の思いや強みを活かした探究学習のプロジェクトを作るヒントが満載です。

キーワード 学校と地域の協働・体制作り、プロジェクトの立ち上げ・運営、大人の対話
オススメ 組織変革のファシリテーションに興味のある方、探究学習などプロジェクトを任されている担当者、関係性を高めてより良い協働を実現したい方

小見 まいこ 氏
みらいずworks 代表理事 / 新潟経営大学 特別客員准教授

若者の離職やニート・フリーター等の社会問題に問題意識を持ち始め、2011年に「にいがたファシリテーション授業研究会」を立ち上げ、初代代表になる。その後、子どもと社会をつなぎ、自分らしい生き方の支援をするキャリア教育に目覚め、「みらいずworks」を設立。認定キャリア教育コーディネーター。文部科学省コミュニティ・スクール推進員「CSマイスター」。著書に、「教育ファシリテーション入門-人と集団が成長する場を作る」みらいずworks、2016年（分担執筆）。